

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 日本特殊塗料株式会社

コード番号 4619

URL <https://www.nttoryo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 遠田 比呂志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務本部  
財務部長兼総務部長

(氏名) 力武 洋介 (TEL) 03-3913-6134

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日 2022年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	27,916	11.3	2	△98.1	972	24.9	339	187.4
2022年3月期第2四半期	25,085	24.9	141	—	778	—	118	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,791百万円(49.4%) 2022年3月期第2四半期 1,868百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年3月期第2四半期	15	62	—	—
2022年3月期第2四半期	5	44	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	81,058	51,713	56.4
2022年3月期	79,792	49,725	55.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 45,740百万円 2022年3月期 44,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年3月期	—	18.00	—	22.00	40.00	—
2023年3月期	—	20.00	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	22.00	42.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	60,500	10.4	1,900	28.2	3,550	35.2	2,300	76.8	105	84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	23,611,200株	2022年3月期	23,611,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,871,451株	2022年3月期	1,891,100株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	21,725,365株	2022年3月期2Q	21,709,758株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策の進展により、経済活動正常化に向けた動きが見られましたが、ウクライナ情勢や中国における経済活動抑制等を背景とした原材料・エネルギー価格の高騰、サプライチェーンの停滞に加え、急激な円安やインフレ懸念の高まり等から、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、徹底した感染症拡大防止策を講じながら、中期経営計画の基本戦略に掲げる収益基盤の強化、新技術・新製品開発、サステナビリティ経営の推進等に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は279億1千6百万円（前年同期比11.3%増）となり、前年同期を上回って堅調に推移いたしました。

損益面につきましては、一部製品の販売価格見直しとともに継続的な原価低減活動・経費低減策を推進したものの、原材料やエネルギー価格高騰等の影響が大きく、営業利益は2百万円（前年同期比98.1%減）となりました。経常利益は、持分法による投資利益や為替変動の影響等により9億7千2百万円（前年同期比24.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億3千9百万円（前年同期比187.4%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### [ 塗料関連事業 ]

国内需要は回復傾向にあることから、主力製品の防水材や床用塗料を中心に建築・構築物用塗料の販売は順調に推移いたしました。特に、集合住宅大規模改修工事等の工事関連売上は、前年同期比10.7%増と大きく伸びました。この結果、当セグメントの売上高は98億5百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

一方、損益面では、建築・構築物用塗料等の一部製品で販売価格見直しを進めているものの、原材料・エネルギー価格高騰の影響が大きく、セグメント損失は8千4百万円（前年同期はセグメント利益1億6千4百万円）となりました。

#### [ 自動車製品関連事業 ]

世界的な半導体不足や中国におけるロックダウン等によるサプライチェーンの停滞を受け、主要顧客である自動車メーカーの生産台数回復には若干遅れがみられるものの、当セグメントの売上高は181億4百万円（前年同期比12.9%増）となり、前年同期を上回って堅調に推移いたしました。

損益面では、売上高が当初計画比で減少したことに加え、当セグメントにおきましても、原材料・エネルギー価格高騰の影響が大きく、セグメント利益は8千3百万円（前年同期はセグメント損失2千6百万円）にとどまりました。

#### [ その他 ]

保険代理業の売上高は6百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億6千5百万円増加し、810億5千8百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加3億2千4百万円、投資有価証券の増加7億3千5百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億2千2百万円減少し、293億4千4百万円となりました。主な要因は、電子記録債務の減少2億5千3百万円、借入金の減少2億6百万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ19億8千8百万円増加し、517億1千3百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少5億4千7百万円、為替換算調整勘定の増加21億6千7百万円、非支配株主持分の増加5億1千4百万円によるものです。この結果、自己資本比率は0.9%増加し56.4%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億7千8百万円増加し、91億9百万円となりました。

営業活動による資金は、20億8千1百万円の収入（前年同期比4億3千万円の減少）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益10億1千5百万円、売上債権の減少額4億5千4百万円、利息及び配当金の受取額7億4千7百万円、法人税等の支払額6億5千6百万円によるものです。

投資活動による資金は、11億3千9百万円の支出（前年同期比8千3百万円の増加）となりました。この主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出13億3百万円によるものです。

財務活動による資金は、11億1千9百万円の支出（前年同期比1億3百万円の減少）となりました。この主な要因は、短期借入金の純増額5億3千9百万円、長期借入金の返済による支出7億4千7百万円、配当金の支払額4億7千6百万円、非支配株主への配当金の支払額4億3千5百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、原材料・エネルギー価格高騰等の影響を含む外部環境や最近の業績動向を踏まえ、以下のとおり、2022年8月10日に公表しました業績予想を修正いたします。

なお、この業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の根拠に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 〔通期の連結業績予想〕

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	60,500	2,450	4,000	2,700	124.31
今回修正予想 (B)	60,500	1,900	3,550	2,300	105.84
増減額 (B - A)	—	△550	△450	△400	
増減率 (%)	—	△22.4	△11.3	△14.8	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	54,779	1,482	2,625	1,300	59.90

## 〔セグメント別業績予想〕

	売上高	セグメント利益
	百万円	百万円
塗料関連事業	19,500	50
自動車製品関連事業	41,000	1,850

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,948	9,127
受取手形、売掛金及び契約資産	13,802	13,556
電子記録債権	2,987	2,993
商品及び製品	1,824	1,718
仕掛品	1,409	1,423
原材料及び貯蔵品	1,431	1,468
未収還付法人税等	—	105
その他	1,456	778
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	31,857	31,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,028	10,127
機械装置及び運搬具（純額）	8,481	8,115
土地	4,703	4,679
建設仮勘定	483	1,128
その他（純額）	1,374	1,344
有形固定資産合計	25,071	25,396
無形固定資産		
その他	1,265	1,356
無形固定資産合計	1,265	1,356
投資その他の資産		
投資有価証券	18,255	18,990
長期貸付金	1,504	1,719
繰延税金資産	99	106
その他	1,793	2,379
貸倒引当金	△55	△58
投資その他の資産合計	21,597	23,138
固定資産合計	47,934	49,890
資産合計	79,792	81,058

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,649	8,923
電子記録債務	3,376	3,123
短期借入金	5,617	6,053
リース債務	6	7
未払法人税等	601	452
役員賞与引当金	72	—
その他	3,949	3,690
流動負債合計	22,273	22,252
固定負債		
長期借入金	3,209	2,566
リース債務	17	20
退職給付に係る負債	3,313	3,286
繰延税金負債	1,147	1,099
その他	105	117
固定負債合計	7,792	7,091
負債合計	30,066	29,344
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	4,194	4,190
利益剰余金	30,547	30,407
自己株式	△1,112	△1,100
株主資本合計	38,383	38,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,989	4,442
為替換算調整勘定	702	2,870
退職給付に係る調整累計額	191	178
その他の包括利益累計額合計	5,883	7,490
非支配株主持分	5,458	5,973
純資産合計	49,725	51,713
負債純資産合計	79,792	81,058

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	25,085	27,916
売上原価	20,580	23,209
売上総利益	4,504	4,707
販売費及び一般管理費	4,362	4,704
営業利益	141	2
営業外収益		
受取配当金	108	130
持分法による投資利益	345	495
雇用調整助成金	22	17
為替差益	46	255
その他	169	119
営業外収益合計	692	1,019
営業外費用		
支払利息	48	28
その他	6	20
営業外費用合計	55	49
経常利益	778	972
特別利益		
固定資産売却益	5	68
受取保険金	0	—
投資有価証券売却益	138	7
受取補償金	—	40
特別利益合計	144	116
特別損失		
固定資産処分損	46	74
特別損失合計	46	74
税金等調整前四半期純利益	876	1,015
法人税等	398	366
四半期純利益	478	648
非支配株主に帰属する四半期純利益	360	309
親会社株主に帰属する四半期純利益	118	339

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	478	648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	372	△540
為替換算調整勘定	464	1,107
退職給付に係る調整額	△18	△14
持分法適用会社に対する持分相当額	571	1,590
その他の包括利益合計	1,390	2,142
四半期包括利益	1,868	2,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,281	1,946
非支配株主に係る四半期包括利益	587	845

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	876	1,015
減価償却費	1,559	1,629
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△70	△39
受取利息及び受取配当金	△170	△185
支払利息	48	28
持分法による投資損益 (△は益)	△345	△495
固定資産売却損益 (△は益)	△5	△67
固定資産処分損益 (△は益)	45	72
投資有価証券売却損益 (△は益)	△138	△7
受取保険金	△0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,685	454
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△748	125
仕入債務の増減額 (△は減少)	△706	△55
その他	174	△582
小計	2,206	1,893
利息及び配当金の受取額	655	747
利息の支払額	△48	△30
保険金の受取額	0	—
法人税等の支払額	△512	△656
法人税等の還付額	210	128
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,511	2,081
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,316	△1,303
有形及び無形固定資産の売却による収入	8	92
投資有価証券の取得による支出	△4	△5
投資有価証券の売却による収入	177	10
貸付金の回収による収入	—	29
その他	△87	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,222	△1,139
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	549	539
長期借入金の返済による支出	△779	△747
配当金の支払額	△456	△476
非支配株主への配当金の支払額	△325	△435
その他	△3	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,015	△1,119
現金及び現金同等物に係る換算差額	165	355
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	439	178
現金及び現金同等物の期首残高	6,518	8,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,957	9,109

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,048	16,029	25,077	7	25,085	—	25,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	1	—	1	△1	—
計	9,049	16,029	25,079	7	25,086	△1	25,085
セグメント利益又は損失(△)	164	△26	138	3	141	—	141

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,805	18,104	27,910	6	27,916	—	27,916
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	1	—	1	△1	—
計	9,807	18,104	27,911	6	27,918	△1	27,916
セグメント利益又は損失(△)	△84	83	△0	3	2	—	2

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。